

【邦舞第一部 講評】

- 今回の審査では、それぞれに表現の工夫や持ち味が感じられ、舞台に向かう思いが伝わってきました。その一方で、出来栄えにはやや幅も見られ、とりわけ足の運びやすさ足といった基本の部分が、日本舞踊としての印象を大きく左右することをあらためて感じました。基礎を整うことで踊り全体が引き締まり、その上に作品の世界がいつそう豊かに立ち上がってきます。
大人の部であっても、あらためて基本を大切にしながら、作品世界を築いていただければと思います。今後のさらなる深まりを楽しみにしております。

- 皆様しっかりお稽古をされている様子が伺えました。6分という制限時間の中で1演目をどの様に表現するのか、良く考えていただきたいと思うことが散見されました。
曲の流れを無理に切ってしまうより、ひとくさりでも流れの中で踊りを見せてほしいと思う演目がいくつかありました。音のつなぎ方にも注意していただきたいと思います。

- 人物、今どういう場面を、はっきり、分かってなさって欲しい

- 芸の合理性、洗練 重力と空気抵抗 感情と呼吸そして論理。
日本舞踊は何といっても手振り、首振り。幼稚にならない様に。

- 皆さんレベルが高いので安心して拝見できました。
それぞれに工夫して短い持ち時間でアピールにとりくんでいました。
コンクールで他の方々と見比べることでより上をめざせるきっかけになりますよね。なぜこの曲にとりくんだのか改めてお考えになり、先をめざして下さい。